

---

# いつかギラギラする日 / アナーキスト 2

カマ野郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

いつかギリギリする日／アナーキスト2

### 【Nコード】

N4686Z

### 【作者名】

カマ野郎

### 【あらすじ】

4人のアナーキストと4人の女神が廻る運命を変える奇跡の数ヶ月間

運命を変えたいかい？じゃあ、願え、動け、考えろ、戦え。

## 説明（前書き）

頑張ります。

## 説明

アナタハジンセイニ満足してますか？それとも後悔してますか？  
これからやる内容は作者がノリと逝きよいでやるので、路線がずれ  
たりするで気をつけてください。

カオスなことになったりしますそれを踏まえてお読み下さい。

そして文句があるなら感想やらに書き込んでください。

一番上の文字は気にしないで下さい。作者がパニックだったと思ひ下さ  
い。

いきなりですが、ここに誓いを立てたいと思います。

まず第一、どんなに時間がかかっても物語を書き続けること。

第二、けなされたとしても絶対に諦めない事。

第三、なるべく面白い物語にすることをここに誓います。

何をパクったのかをここに記載する

「攻殻機動隊」TV版「男たちの挽歌」「FF13」「ハキヤラク  
ターのみ」など・・・長くなるのでどここまでにしておきます。

呼んでくれた読者のみなさんありがとうございました。

始まりと終わりに(前書き)

さあ、頑張ろう

## 始まりと終わりに

チャイ「よしやあー！！カジキが釣れたあああー！！！！」  
ホープ「おめでとございます、チャイさん」

チャ「ホント・・・一週間かけて餌を作り、3日で竿を作りそして・・・」

こ「救援信号を何度か送りやっとなん年賭けてやっとなん組織に送ることができた」

チャ「そうだ、2年も・・・ところで何時から俺の後ろにいるんだ？こーちゃん」

こ「二分前からですよチーフ」

チャ「そうか、わかったそれよりも仕事は終わったのか？」

こ「終わったからここにいますよチーフ、メシにしますよ」

チャ「そうだなハラが減ったら戦は出来ないというし・・・」

こ「へえーそうですか」

チャ「何か、不満でもあるか？」

こ「別にないですけど・・・先に行ってます」

チャ「ああ」

ホ「あ！・・・またシーラカンス釣れちゃいました」

チャ「またかよ、もういいよシーラカンスはもう！150匹目だよ今日で」

ホ「すみません、不甲斐なくて」

チャ「ゴメンゴメン、気にしないでいいから先に行ってください」

ホ「ありがとうございます」

ハア「なんでこんなことになったんだけ？」

えくとたしか・・・数ヶ月前に・・・

始まりと終わりに（後書き）

今日このまじです

どん吐チャイクライ(前書き)

まあ、面白くなるよう頑張ります

## どん吐チャイクライ

地獄・需要参考人取調室

ルシファー「さつさと吐いてくれねえと、こっちも我慢の限界なんだけどねえ」

チャ「吐いたら解放してくれる？」

ル「考えてやらん事もない」

チャ「わかった吐くよ」

ル「そうか吐くのかさうみたいです監察官殿」

監「そうかそれはいい判断だ4年間待ちどしかったぞクソガキ」

チャ「じゃあ、吐くね」

監「さつさと・・・」

チャ「ゲロオオオオオオエー！！！！」

監「クソ！スーツがゲロまみれだ！！クソ！」

ル「すみません」

監「はあ？」ゴン！、パタン

チャ「ウワオ、豪快だね」

ル「そりゃあ、ありがとさんジョン」

どん吐チャイクライ(後書き)

なんか中途半端に

## 脱走（前書き）

書くことないです。

## 脱走

ル「ああ・・・これでオマエと同じになちまったよ、クソ」

チャ「おめでとう」

ル「めでたくねーよ、まったくよなんて悪魔が天使側のスパイを助けなきゃならないんだ」

チャ「昔馴染み・・・ってことで」

ル「まあ・・・地獄の始末屋やつてる時に助けられた借りチャラだからな」

チャ「別にいいけど・・・コレ貰ってもいい？」

ル「ハア！？拷問で頭イかれちまったのか？それは絶対ダメだ」

チャ「なぜ？」

ル「それはなあ神殺しの銃という神やら悪魔など存在を消せる天界と地獄に二挺しかないあぶない銃なんだよ」

チャ「なんでこんな所に置いての？」

ル「それは・・・ジャン負けして俺が持つことになったんだよ」

チャ「ふ〜ん、そんなことよりも後ろ！」

ル「はは〜ん、そんな手には・・・」

チャ「オラ！！」

ル「あべし！！！！」バタ・・・

チャ「ゴメンな・・・今これが必要なんでね」

数分後

## 脱走（後書き）

以外とうまくできました。

帰還（前書き）

ハア〜ン死ぬ〜

## 帰還

ガシャーン！

看守「脱獄じゃあー！！！！」

チャ「ヒヤッホー！」

キイイイー！！！！！！！！！！

看守リーダー「迎え撃つぞー！！キサマらー！！！！！！！！！！」

看「へい！」

チャ「お？」

看守リーダー「ははははキサマはここでくち・・・」

ドン！

チャ「あ、ヤベえ轢いちゃった」

看守リーダー「おぎゃあああああああああああああ」

チャ「まあ・・・いいかどのみち地獄だし」

キュルルル〜ブーン！！

この時はまだ、簡単に終わることだと思っていた・・・

帰還（後書き）

ハア〜生きる〜

帰郷（前書き）

イエスウィキャン！

## 帰郷

新浜県新浜市道路

ガシャン！、ドカーン！！！！

肉「クソ！クソ！クソ！クソ！クソ！何なんだアイツは！？」

キイイイー！！！！ガチャ！

チャ「何逃げようとしているのかなあ、肉島君？」

肉「あのよう・・・あんたは何か勘違いしてねえか？」

チャ「・・・」

肉「俺はただ言われた通り総理になって公安の連中をクビにしてあのクソアマを・・・」

ガン！ガン！ガン！ガン！ガン！ガン！

肉「ゴボ！・・・オガア・・・」

チャ「オマエに良いことを教えてやるよ」

肉「・・・？」

チャ「公安9課を解散させたことは許そう・・・でもな、少佐のとを・・・」

チャ「クソアマと罵る奴には・・・八つ裂きにすることに決めただよね」

肉「ちよ・・・」

チャ「今から俺がオマエの耳を切り落とすし鼻をへし折り瞳を切り裂くまでに5秒ぐらいの猶予がある」

チャ「そこで、オマエに出来ることといえば祈りながら何が起きているのかを言うことと黙って神に祈ることだけだ」

肉「どっちにすればいいですか・・・？」

チャ「テメエで決めろ」

帰郷（後書き）

今日は盲くいった。

後始末（前書き）

花火ファイヤー――

## 後始末

数分後

すうー、ふーん・・・

ダ「で、君何話したの肉島君？」

肉「えーとその〜」

ダ「まあ君のおかげで我々の計画は順調に進んでいることだし何を洩らしても問題ないけどねえ〜」

肉「・・・全部洩らしてしまいました」

ダ「何の？」

肉「計画の全容を・・・」

ダ「へえ〜そう別にいいよ」

肉「え！？なぜですか？」

ダ「だってキミ、口軽そうなんだもん〜だから半分ニセの情報ををキミに吹き込んだの」

肉「そうなんすか・・・」

ダ「おもしろいことにそんなどうしようもないキミが総理になってこのセカイの社会をひっかき回したおかげで公安9課が動いて女神の捕獲手早く済んだ」

肉「それは・・・」

ダ「それよりさあ」

肉「ハイ？」

ダ「生肉と焼肉どっちが好き？」

肉「え？」

ダ「おれはねえ〜生肉の方が好きなんだよねえ〜」

肉「私は・・・焼・・・」

ビューワァー！！！！！！

後始末（後書き）

肉「ぎゃあああー!!!」

ダ「ゴメンねもう、キミいらなからもう退場」

部下「これからどうします?」

ダ「女神たちとその息子が1人そろったから要らない奴全員消えて  
もらおう」

部「そうですね・・・わかりました」

検索(前書き)

せうしせうさるひんば

## 搜索

病院受付

看護師「ですからあの〳その人は退院しています」

チャ「ホントに?」

看護師「本当です」

チャ「じゃあ担当した医師は?どこの部屋で入院してたの?ねえねえねえ??」

看護師「・・・あ!院長!」

院長「どうしたのかね?」

看護師「この子が、やたらと患者さんの所在を聞いてきて・・・」  
チャ「・・・」

院長「あゝキミか!なんだ」

看護師「え!?知り合いですか?」

院長「友人の息子だ。たぶん、父親が退院したという情報を知られるのが遅くてここに来たのだろう」

看護師「でも・・・」

院長「いいからいいから、後は私に任して君は通常業務に戻りなさい」

看護師「でも・・・」

院長「いいから戻りなさいいいね?」

看護師「わかりました・・・戻ります」

院長「そうか、じゃあ行こうか・・・ボク」

チャ「ああ、行きましようおじさん」

院長室

カチャ!!

## 捜索（後書き）

チャ「やっぱ・・・そういうことか・・・」

院長「フフフフくまさか『女神の息子』にお目にかかれるとは私にもツキがまわってきたようだ」

チャ「へえくそう呼ばれてんだ・・・ところで課長の居場所知ってる？」

院長「ああ、知っているともしそれを知る前に君は我々の計画に参加してもらおう」



## 対話

チャ「計画・・・ああ、あの訳のわからない計画？」

院長「フフフフ・・・君にとってはわけのわからない計画かもしれないが私たちにしたらかなり重要な計画なんだよ」

チャ「だから、9課を解散させ少佐を拉致してわけのわからん実験を行い入信した人たちをマインドコントロールしたわけか」

院長「クククク、幸せになれますと誘い後はいろいろと吹き込んで社会に不信感を抱かせ後は・・・まあ、言わなくても分かるだろう？」

チャ「『調教』だな？」

院長「男だろうと女だろうと薬漬けにしたり揺さ振りをかけたりすれば後はカンタンだ」

チャ「へえ〜そうか大変不愉快な話だ」

院長「そうかもっと不愉快な話をしてやろう、なぜ9課が解散されたと思う？」

チャ「さあ、わかんねえ〜なあ・・・」

院長「あいつが私達がやってきたことを全否定しやがったんだ」

チャ「あいつ・・・少佐のことか？」

院長「ハハハハ、あいつそんな名なのか？」

チャ「いや、呼び名みたいなモノだ」

院長「じゃあ、本名はなんだ？」

チャ「その前になんて言われたんだ？」

院長「『自分を変えられない奴が神になれるか』だとう」

チャ「へへへ・・・ざまあみろ」

院長「おいおい、まだ話に続きがあるんだよ聞くか？」

チャ「・・・もういいよ」



デイドクター（前書き）

クソ！書いた奴が消えた！

## ディアドクター

院長「おいおい、君が聞きたいと言ったから話っているんだ最後まで聞けよ」

チャ「はあくわかった、わかった、勝手にしてくれ」

院長「あいつ・・・いやあの女が我々の『聖なる撃鉄』を全否定した後、何が起きたと思う？」

チャ「知るか？」

院長「『あの人』が現れ、女を捕らえたその後『あの人』は『聖なる言葉』を述べた」

チャ「あの人？聖なる言葉？聖なる撃鉄？何じゃそりゃ」

院長「今は意味がわからなくてもいずれ来る『審判の日』にはわかるよ、『女神の息子』よ」

チャ「ホントお前らの目的がわけ分からない」

院長「フッフッフッフ・・・君にとっては理解に苦しむことも知れんが我々にとっては重大な意味を持つモノなのだよ」

チャ「もういいから、聖なる言葉やらを教えてくれ」

院長「この聖女は義体だ。我々の計画にとって都合のいい事だが、この者の脳と魂がダメだそこでだみなさん、この聖女を女神にするために私の血肉を与えようと思ういいかな？」

チャ「血肉を与える・・・まさか・・・！！」

院長「ヒヤはハハハハ半不死者にしたのだよ」

チャ「テメエ・・・！！！！！！」

院長「いやはや・・・君の弱点を聞いておいてよかったよ」

院長「まあ・・・そんなに力リ力リするなよまだ話の続きがあるんだから」

チャ「・・・」

院長「その後は大変愉快だったまず頭に我々が造ったマイクロマシンを植付け記憶やゴーストなどを弄り廻し、後は墮ちるまで調教パーティよそれと・・・」

院長「お前の個を知っている」となんども吹き込んだり過去のことを何度もエグったりしたな」

院長「本当に墮ちる時は墮ちたな～まさか、あそこまでするとは思わなかったなあ」

院長「まるで本物の豚よりぶた・・・」

バキッ！！ドバー！！ガタンゴロロロ・・・ガン！！！！

院長「キサマ・・・！！！！」

チャ「どうした？さっきまでの威勢はどうした？」

チャ「さあ・・・ヨタ話の続きを聞かしてくれ」

院長「話たくない、もうこの話は・・・」

ドカ！バキ！グシャ！

院長「・・・」

チャ「話せ、お前らが知ってきたことを全部！」

院長「ククククク、話題を変えよう・・・なぜ9課が解散したのかについて」

院長「それはなあ・・・お前がいたのがいけないんだ」

チャ「どういう意味だ？」

院長「あの人”はお前のことが大嫌いで、お前の人生を無茶苦茶にしてやるうと9課連中に矛先を決めたんだ」  
チャ「そんな・・・」

院長「そんなに驚くことか？あの方は気に入らない奴がいればその家族や友人とその家族、仕舞いにはたまたま知り合った奴まで殺すような御方だ」

院長「ああ、今でもあまりの素晴らしさで9課の連中の人生を無茶苦茶にする瞬間が頭にこびり付いてるよあれは大変愉快だったまづ・・・」

院長「トグサと呼ばれる男の家庭をブツ壊してやった」

院長「あいつの電腦にコンピューターウイルスを送り込んで精神的に追い詰めた後、暮らしてる近所に

大量のデマな情報ばら撒いて娘は学校で虐められるよう仕向けたり」  
院長「特にひどかったのは妻がなくなんていったって一日400000通モノ意味不明な手紙に豹変した夫、娘の学校問題にそれに・・・」

院長「親戚の家や自分暮らして所が爆発したり放火されたりしたらもういつしよに暮らせなくなるよなあ？ひやははははは！！！！」

院長「ホント、離婚するまで過程が面白かったぜ！！ははははは・・・」

バンバンバンバンバン・・・カタン、コロコロ・・・  
チャ「お前の話は大変不愉快だったから、最後まで聞くに聞けなかったよクソ野郎」

チャ「地獄で永遠にしゃべり続けなまあ・・・誰も聞かないと思うが」

チャ「じゃな、最低野郎俺はここを立ち去るから次会うときはも少しマシな話を考えておいてくれ」

チャ「それでも・・・聞きたくはないがな2度と」

ディアドクター（後書き）

ヤベエ・・・原作レイプ・・・しちまった  
それと長くなってしまった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4686z/>

---

いつかギラギラする日 / アナーキスト 2

2012年1月6日18時48分発行